

# 農 研 速 報

平成 25 年 1 月 16 日発行  
 茨城県農業総合センター農業研究所水田利用研究室  
 〒301 - 0816 茨城県龍ヶ崎市大徳町 3974  
 TEL 0297 - 62 - 0206 FAX 0297 - 64 - 0667

作物名(大豆)

県 名	生育ステージ		生育の状況	問 題 点	これまでに講じた対策 及び今後の方針
	本 年	平年対比			
茨 城 県 (龍ヶ崎市)	タチナガハ 10月31日 成熟期	1日遅い	<p>大豆生育期間中(6月27日～10月31日)の気象は、日平均気温が平年並で、日照時間は平年比 128%、降水量は 62%であった。播種～開花期(8月10日まで)は、日平均気温は 0.6 高く、日照時間は平年比 133%、降水量は 92%で推移した。開花期～成熟期(10月31日まで)では、平均気温は 0.9 高く、日照時間は平年比 126%、降水量は 51%であった。(龍ヶ崎アメダス観測値。平年値は直近 5 ヶ年の平均値)。</p> <p>平年と比較して、開花期は、タチナガハは 6 日、納豆小粒は 3 日遅かった。成熟期は、タチナガハは 1 日遅く、納豆小粒は 3 日早かった。</p> <p>タチナガハの生育は、主茎長及び主茎節数が平年並であった。分枝数及び稔実莢数が多く、百粒重も重かったことから、子実重は平年比 162%となった。納豆小粒は、主茎長が平年よりやや長く、主茎節数は平年並であった。分枝数及び稔実莢数が多く、百粒重もやや重かったことから、子実重は 160%となった。外観品質は、両品種とも裂皮粒としわ粒の発生が目立ち、平年より劣った(表 1)。</p> <p>開花期～成熟期は、高温・多照で降水量が少なく推移し、乾燥状態が続いていたことから、タチナガハで青立ち株が多く発生したと考えられた。また、外観品質の低下は、生育期間中の降水量が少なく、その後、降雨による乾湿の繰り返しが原因と推察された(図 1)。</p>	タチナガハで 青立ち株が多 発した。	紫斑病及び害虫の 防除を適宜実施した。
	納豆小粒 10月22日 成熟期	3日早い			

表 1 成熟期における生育、収量、品質

品 種	開花期			成熟期			主茎長			主茎節数			分枝数		
	本年	前年差 (日)	平年差 (日)	本年	前年差 (日)	平年差 (日)	本年 (cm)	前年比 (%)	平年比 (%)	本年 (節)	前年比 (%)	平年比 (%)	本年 (本/株)	前年比 (%)	平年比 (%)
タチナガハ	8月6日	+4 (8月2日)	+6 (7月31日)	10月31日	+10 (10月21日)	+1 (10月30日)	51	104 (49)	100 (51)	13.7	101 (13.5)	100 (13.7)	5.4	115 (4.7)	123 (4.4)
納豆小粒	8月10日	+3 (8月7日)	+3 (8月7日)	10月22日	-2 (10月24日)	-3 (10月25日)	70	104 (67)	106 (66)	15.7	99 (15.9)	98 (16.1)	9.3	129 (7.2)	155 (6.0)

品 種	茎の太さ			稈実莢数			子実重			百粒重			外観品質		
	本年 (mm)	前年比 (%)	平年比 (%)	本年 (莢/株)	前年比 (%)	平年比 (%)	本年 (kg/a)	前年比 (%)	平年比 (%)	本年 (g)	前年比 (%)	平年比 (%)	本年 1(上上) ~ 5(中中) ~ 7(下)	前年差	平年差
タチナガハ	9.5	85 (11.2)	99 (9.6)	65	87 (75)	144 (45)	34.9	107 (32.7)	162 (21.5)	38.2	126 (30.4)	115 (33.3)	7.0	+1.5 (5.5)	+1.4 (5.6)
納豆小粒	9.8	82 (12.0)	101 (9.7)	255	108 (237)	149 (171)	44.9	144 (31.1)	160 (28.0)	10.6	131 (8.1)	107 (9.9)	6.0	+2.0 (4.0)	+1.4 (4.6)

試験場所は農業研究所水田利用研究室内圃場(龍ヶ崎市、中粗粒灰色低地土)。  
( )内は前年値又は平年値。平年値は平成19年～23年(5ヵ年分)のデータの平均値。  
茎の太さは第1節(子葉節)と第2節(初生葉節)の節間の長径を測定した。  
耕種概要: 6月27日播種、11.1株/㎡(畦間60cm×株間15cm)1本立て、施肥量(kg/a): N-P<sub>2</sub>O<sub>5</sub>-K<sub>2</sub>O=0.3-1.2-1.2

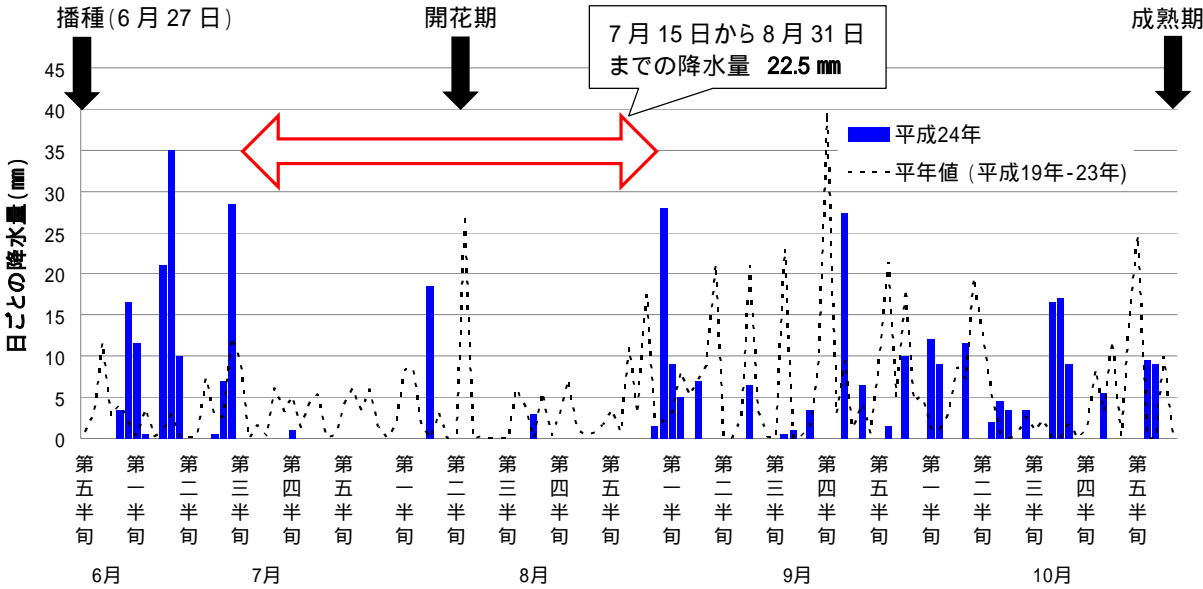


図 1 大豆生育期間中における降水量の推移